

2010年度 日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画

(募集要項)

2010年7月

1. 目的：

日墨両国の戦略的グローバル・パートナーシップの強化に貢献出来るような若手人材の育成を目指し、メキシコにおいて研究・研鑽を積む機会を提供するものである。

本グローバル・パートナーシップ研修計画は、1971年に発足した両国政府による研修生・留学生の交流プログラムであった「日墨交流計画」を基に両国の戦略的グローバル・パートナーシップをより一層強化する観点からコース内容の変更を行ったものである。

2. 募集人数：25名程度（全てのコースを合わせた人数）

3. コースの概要：

●特別コース（約1年間）

特定の分野について高い専門性を有する者（大学院生、実務家、研究者等）が、年度の前半は、スペイン語コースの受講を中心としつつ、後半は、大学等にて専門分野の授業の受講等を行い自らの研究活動に役立てる。

（＊渡航までに基礎的スペイン語の習得に努めることが求められる。なお、年度後半の大学等における専門科目の受講にあたっては、現地にて実施されるスペイン語能力試験において、一定の成績（中級以上）（注）を修める必要がある。）

（注）メキシコ国立自治大学（UNAM）の外国人のためのスペイン語コース（CEPE）の中級1（Intermedio 1）修了レベル相当

●専門コース（約1年間）（スペイン語中～上級者）

メキシコの大学、大学院等の研究機関において、文系、理系の専門分野の授業を受講する。大学等における専門分野の授業受講に必要なスペイン語能力（中～上級）（注）が求められる。

（＊ただし、大学院等の研究機関における授業の履修を希望する者については、2011年3月未までを目処に、各自にて研修希望先の大学院、研究機関とコンタクトを取り、希望する指導教官に研究計画書等を提出し、受入許可・受入同意を得ることが必要となる。なお、申請の時点で既に受入許可・受入同意を取得している場合は他の出願書類と併せて提出すること。）

（注）メキシコ国立自治大学（UNAM）の外国人のためのスペイン語コース（CEPE）の中級1（Intermedio 1）修了レベル以上

●修士課程コース（約2年間）（スペイン語上級者）

大学院等で、専門科目の授業を履修すると共に、特定の教授の指導の下に研修を行う。修士課程修了時に修士論文（スペイン語）の提出が求められる。修士号の取得が可能。高いスペイン語能力が求められる。

（＊ただし、2011年3月未までを目処に、各自にて研修希望先の大学院、研究機関とコンタクトを取り、希望する指導教官に研究計画書等を提出し、受入許可・受入同意を得ることが必要となる。なお、申請の時点で既に受入許可・受入同意を取得している場合は他の出願書類と併せて提出すること。）

4. 大学等における専攻・研究分野：文系、理系のあらゆる分野

上記3. のいずれのコースについても、両国の戦略的グローバル・パートナーシップの強化に資する分野を専攻することが奨励される。

【参考】 21世紀における戦略的グローバル・パートナーシップ及び経済成長促進に関する日本・メキシコ共同声明(2010年2月発表)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mexico/visit/1002_ks.html

5. インターンシップ制度：

上記コースの受講者のうち、下記の要件を満たす希望者は、メキシコの公的機関、研究機関及び企業等において、一定期間（1ヶ月～6ヶ月程度）のインターンシップの実施を認められる。

- ◆一定のスペイン語力（注）を有すること◆大学学位取得者
 - ◆インターン先での明確な研修計画を有していること
 - ◆受入機関よりの受入証明書を自ら取得すること（*渡航までの間に、各自にて、インターンシップを希望する機関とコンタクトをとり、自ら受入受諾書を得ることが必須となる。）
- （注）メキシコ国立自治大学（UNAM）の外国人のためのスペイン語コース（CEPE）の中級1（Intermedio 1）修了レベル相当）

6. 受入調整機関 メキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）

- （1）研修生の受入大学等については、同審議会が各研修生の希望分野や語学力を考慮して最終的に決定する。
- （2）同審議会が受入れ可能な研修先リスト一覧 ①大学、②大学院など研究機関は別添のとおり。
- （3）「外国人のためのスペイン語コース」（<http://www.cepe.unam.mx/>）は、メキシコ国立自治大学（UNAM）にて行われる。

7. 派遣・給付期間

- ◆特別コース：約1年間（2011年8月中～2012年7月末）（予定）
- ◆専門コース：約1年間（2011年8月中～2012年7月末）（予定）
- ◆修士課程コース：約2年間（2011年8月中～2013年7月末）（予定）

8. 待遇（第38回 2009年度の場合）

- （1）滞在費：月額7,757ペソ
 - （2）医療保険：メキシコ政府（公務員保険・社会サービス庁：ISSSTE）が原則として負担。
 - （3）入学金・授業料：免除（半年間で約7,000ペソ相当）
 - （4）渡航費：東京～メキシコ・シティー間の往復航空券支給
 - （5）住居の選定：原則ホームステイとし、CONACYTや大学等の協力を得ながら留学生自身が行う。
- （*なお、メキシコ政府側から支給額他、待遇については毎年見直しの上改訂される。）

9. 応募資格（原則として、過去に本計画によって派遣された者は対象外）

- （1）日本国籍を有する者
- （2）心身ともに健康な者
- （3）4年制大学又は大学院の在学者、卒業生。又は学位取得者に準じた資格、十分な職務経験を有する者
- （4）2011年4月1日現在で、22歳以上35歳未満の者
- （5）メキシコに単身で渡航できる者

10. 応募方法

- （1）出願書類：別記「出願書類一覧」参照
 - （2）願書提出先：独立行政法人日本学生支援機構 留学情報センター
受付時間：月～金曜日（祝日を除く）9:30～17:00
〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1（新交通ゆりかもめ「船の科学館」駅 東出口 徒歩5分）
TEL：03-5520-6111/6161
- 注：出願封筒の表に「2010年度 日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画」と朱書のうえ、簡易書留または宅配便で送付するか、持参すること。

(3) 願書提出期限：2010年9月24日(金) 15:00必着

11. 選考：

(1) 第一次選考

◆特別コース

・書類審査

◆専門コース及び修士課程コース

・書類審査

・筆記試験：スペイン語能力判定試験（西文和訳，和文西訳が中心）

日時：2010年10月15日(金)

場所：東京会場 （独）日本学生支援機構 東京国際交流館 プラザ平成4F 会議室
（所在地，電話は上記留学情報センターと同じ）

京都会場 京都外国語大学国際交流会館

〒615-0058 京都府京都市右京区西院笠目町6（阪急西院駅下車 徒歩15分）

TEL：075-312-3388

*筆記試験は，出願者が願書に記載した希望受験地で行う。上記の日時の15分前までに各会場に集合すること。

一次審査の結果は，11月中旬に外務省中米カリブ課より書面にて通知する。

(2) 第二次選考

全コース共通：面接試験（専門コース，修士課程コースは，スペイン語の会話試験を含む）

日時：2010年12月13日(月)

場所：（独）日本学生支援機構 東京国際交流館 プラザ平成4F 会議室
（所在地，電話は上記留学情報センターと同じ）

※面接時間については一次選考結果通知の際に伝える。

※二次審査の結果は，12月中旬を目途に外務省中米カリブ課より本人宛に通知する。

(3) 最終決定（全コース共通）

国内選考に合格した者は，正式な候補者としてメキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）に推薦される。最終決定は同審議会が行い，その結果は2011年6月頃に書面にて通知する。

<2010年度 日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画選考日程表>

日程	専門コース， 修士課程コース	特別コース
2010年9月24日(金)	願書提出締切	願書提出締切
10月15日(金)	一次選考（筆記試験）	
12月13日(月)	二次選考（面接試験）	二次選考（面接試験）

12. 渡航前説明会の開催

出発前に渡航前説明会が開催される。渡航及び研修にあたっての重要事項の説明があるので，研修生は原則として必ず参加することが求められる。

13. 留意事項

(1) 専門コースと修士課程コースの併願は可。それ以外のコースの併願は認められない。

(2) 本募集要項に記載されている諸要件（専攻分野，受入機関，派遣期間，待遇等）については，今後変更もあり得る。

- (3) すべての研修候補生は、メキシコ渡航までの間に、メキシコ政府が実施するオンライン・スペイン語試験（2011年1月、5月に実施予定）を受講することが求められ、各自スペイン語能力の向上に努めることが期待される。
- (4) 研修期間中の帰国、また、メキシコ国外への旅行は原則として認められない。
- (5) 安全で有意義な留学のため、この奨学金に応募する者は、志望校を選定する際、また、奨学金研修生に選定され渡航する際には、各自で必ず事前に留学先の治安状況等の安全情報をはじめとする留学に関する情報を収集すること。なお、情報収集にあたっては、公的な留学情報機関である「日本学生支援機構留学情報センター」や海外でのトラブル防止に役立つ世界各国の治安情勢や滞在中の留意点などの安全情報を提供している外務省の「海外安全相談センター」の情報提供サービスを活用すること。
- (6) メキシコ国家科学審議会（CONACYT）のホームページ（下記のHPアドレス参照のこと）、（独）日本学生支援機構留学情報センターの情報などを参照の上、出願書には希望研修大学、又は、大学院（第1希望及び第2希望）を記入する。
- (7) 都内にて開催される渡航前説明会及び渡航当日の空港までの交通費等は全て自己負担となる。
- (8) 研修生は、メキシコ到着後に受入機関であるCONACYTによるオリエンテーションを受けた後、受入大学、大学院等で研修を行う予定。
- (9) 研修期間中、全ての研修生は、メキシコ政府受入機関（CONACYT）に対し定期的（2ヶ月毎）に研修活動報告書を提出することが求められる。また、メキシコ政府よりの奨学金を受けているとの意識のもと、真面目な態度で研修に取り組み、良好な成績を修めることが求められる。
- (10) 本計画に関する問い合わせのうち、提出書類や選考試験の場所に関しては日本学生支援機構留学情報センターに、選考試験及び選考終了後の各種照会は外務省中米カリブ課（担当：メキシコ班・安孫子TEL：03-3580-3311 内線2494, e-mail: nichiboku@mofa.go.jp（※メールアドレスの*を@に直して送付願います。））に対して行うこと。）

●独立行政法人 日本学生支援機構留学情報センター

TEL：03-5520-6111/6161 ホームページ：<http://www.jasso.go.jp/ryugaku/>

●メキシコ側受入機関（メキシコ国家科学技術審議会（CONACYT））が受入可能な

研修先一覧：別添

●外務省ホームページ：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

●海外安全相談センター（外務省領事局海外邦人安全課）

TEL：03-3580-3311(代)（内線：2902, 2903）

●海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●メキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）：<http://www.conacyt.mx>